

岡崎嘉平太記念館



Vol. 30

だより

北京・清華大学にて『岡崎嘉平太とLT貿易』展開催

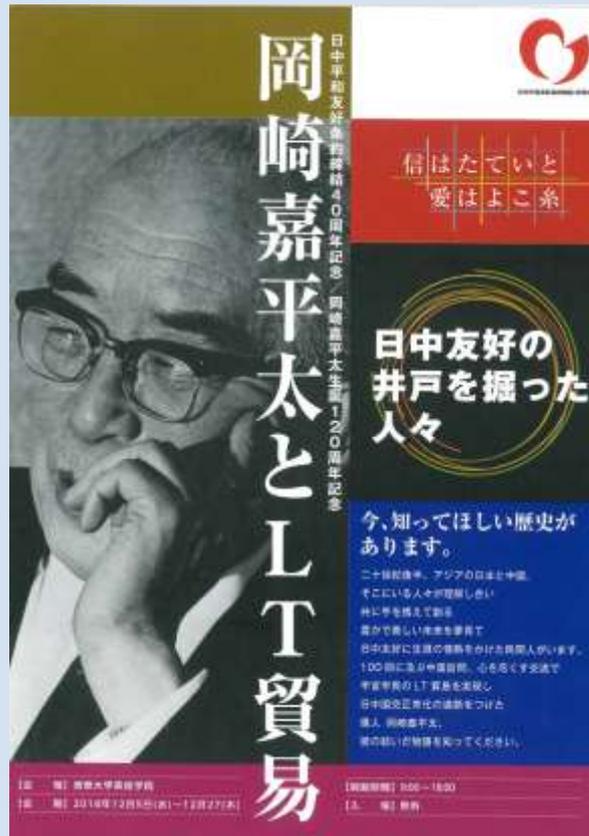
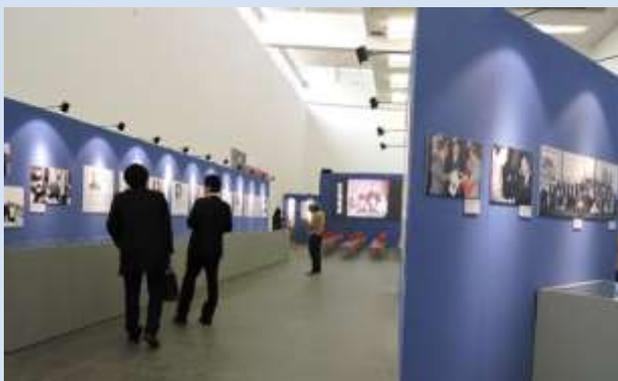
平成29年の岡崎嘉平太氏生誕120周年、そして平成30年の日中平和友好条約締結40周年を記念して企画された展覧会『岡崎嘉平太とLT貿易』が平成30年12月5日(水)から27日(木)まで、ANAホールディングス(株)と清華大学の主催により、中国・北京市にある清華大学美術学院内で開かれました。当館からも資料を多数出展し、協力いたしました(7月24日(火)から8月20日(月)までは東京羽田空港国内線第2旅客ターミナル3階「ディスカバリーミュージアム」でもほぼ同じ内容で展覧会が開催されました)。当館所蔵資料が国外で展示されるのは初めてとなりました。



←オープニングの集合写真 ↑北京会場風景
↓展覧会パンフレット



オープニングでは横井裕駐中華人民共和国特命全権大使も来賓挨拶



岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第17回講演会の開催



平成30年11月24日(土)岡山県立図書館多目的ホールにて「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第17回講演会」を開催しました。

この度は平成30年が日中平和友好条約締結40周年となることから、民間人として初の中華人民共和国駐劬特命全権大使に就任されご活躍された丹羽宇一郎氏を講師としてお迎えし、両国の関係がもたらすアジアや世界の平和などについて講演いただきました。

講演では、私心を捨て自らの信念に基づき生涯をかけて日中友好に尽くした岡崎嘉平太氏の崇高な生き方に学び、中国の事をもっとよく知り、民の力で官を動かし“第二の井戸”を掘ることで、中国延いてはアジアの真の平和と友好を築いていかなければならない、とのお話を伺い、岡崎氏のご存命であれば同様の話をされたのではないかと深く感銘いたしました。当日は県内外から140名の参加者があり、丹羽先生のご講演に聞き入っておられました。

講演の記録は冊子にまとめ後日発刊しご希望の方には頒布いたします。詳しくは岡崎嘉平太記念館までお問い合わせ下さい。



秋の特別企画展

「岡崎嘉平太とANA(全日空)

—その軌跡と今に生きる精神」の開催

平成30年9月22日(土)～12月27日(木)



ANA(全日空)は、当時の朝日新聞社社長の美土路昌一氏等が中心になり設立、昭和27年(1952)民間航空会社日本ヘリコプター輸送(株)としてスタートしました。岡崎嘉平太



岡山空港国際第一便就航時にテープカットする岡崎氏(右) 1988年3月14日

氏は親交のあった美土路氏に経営面での助けを請われ、副社長として設立に参加し2代目社長に就任。以後社長を6年、相談役を22年間つとめ全日空の基盤を作り日本の航空業界の発展に大きく貢献しました。この度の企画展では、飛行機に興味を持った少年時代の紹介、設立から参画した経緯や社員と信頼関係を結びつつ、企業とはいかに社会へ貢献すべきかを問い続けた姿に着目し、主に航空業界で活躍した側面を紹介しました。社員から贈られた品々や、全日空関連の遺品、航空業界から贈られた賞、これ等

に関連した貴重な写真等、また全日空内に設立された岡崎嘉平太国際奨学財団の紹介等を行いました。また企画展関連行事として、ANA岡山支店様にもご協力いただき11月11日(日)には本展と岡山桃太郎空港の「見学ツアー」を開催。空港ではANAの航空教室を受けたりターミナルビルを見学、また日頃入ることの出来ない駐機場で飛行機を見学したりしました(参加者40名)。



岡山桃太郎空港の見学ツアーとANAの航空教室

「覚友会」に職員が参加

日中国交正常化への道筋をつけたといわれる「日中覚書貿易」に関わってこられた方々が中心となって毎年「覚友会」を開催されています。岡崎嘉平太記念館の職員も毎年参加させていただいており、今年で4回目となりました。今回は中国要人であった孫平化氏御令嬢孫曉燕氏や中国大使館から宋耀明公使、岡崎嘉平太氏御子息(三男)眞氏も御来会され、岡崎氏との思い出や当時の中国の様子、現在の日中関係等多岐にわたる大変興味深い内容でした。また孫氏は翌日当館にもご来館下さいました。



参加者の皆さんとの集合写真

夏休みミニ企画展「知ってるかな？わたしたちの まちのすごい！人-郷土出身の偉人たち」展開催



上写真：ビックアートのワークショップ風景(丸シールをマス目にはっていきます) 右写真：完成したビックアート

平成30年8月8日(水)～27日(月)まで開催。岡山県名誉県民でもある岡崎嘉平太氏と同称号が贈られている高畑浅次郎氏、土光敏夫氏、藤原啓氏、川崎祐宣氏、谷口澄夫氏、江草安彦氏、また犬養木堂翁を“郷土岡山の偉人”として、また重森三玲氏、秋山清水氏、妹尾天然氏、片山重範氏等を“吉備中央町出身の偉人”として主にパネルや写真で紹介しました。ミニ企画展に併せて“ビックアート”のワークショップを開催。縦2メートル横3メートルの大きな「嘉平太さん」と「三玲さん」を会期中に来場者の皆さんと完成させました。後日「きびプラザ」内と「吉備青少年自然の家」でのイベントでも展示していただきました。迫力満点の「嘉平太さん」と「三玲さん」に皆さん驚かれています。また隣室の「嘉あちゃんの部屋」では夏休みの宿題の一助となればと“郷土の偉人”に関する本を取りそろえた臨時の図書室も開設しました。

「絵手紙をかく会」開催

平成30年8月9日(木)当館主催による「絵手紙をかく会」を「きびプラザ」内で開催。主に小学生約40名の参加者があり、吉備中央町大和公民館「絵手紙クラブ」の先生方から手ほどきを受けながらそれぞれ迫力ある作品を仕上げていました。最後に一人ずつ作品発表をし、当館で展示もしました。



「嘉あちゃんの部屋」で仏像彫刻 「岡本正照木彫仏像一心のふるさと展」開催



平成30年9月29日(土)から10月29日(月)まで「嘉あちゃんの部屋」にて岡本正照さんの「木彫仏像一心のふるさと展」を開催しました。岡山県吉備中央町大和出身で現在は名古屋にお住まいの岡本さん(89歳)は宮大工として数々の寺院の修復を手がけ、25年程前から趣味で仏像の木彫りに取り組んでおられます。故郷での個展は初めてで、阿弥陀如来や毘沙門天像等、精巧に再現された仏像約60点に多くの来場者が見入っておられました。

※「嘉あちゃんの部屋」は主に町内の団体及び住民などによるコミュニティづくりや地域振興などの活動の利用により、学習の場、憩いの場、ふれあいあいの場、作品発表の場を提供、支援するための施設で、どなたでもお気軽にご利用できます。

中国淮安市淮安区中学生友好訪問団来館

吉備中央町は、岡崎嘉平太氏と周恩来総理の縁で淮安市と友好提携協定を結び相互交流を続けています。平成30年8月8日(水)中国淮安市の中学生が来町、来館しました。



来館くださいました



吉備中央町内の豊野小学校と上竹荘小学校4年生の児童の皆さんや先生方が総合学習で来館下さいました。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズなどで学習し約1時間程滞在。当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。

また11月13日(火)には「水島消費生活学級」の皆さん34名、15日(木)には「総社市日本語教室」の皆さん7名、「岡山市立興除公民館歴史を訪ねる会」の皆さん36名、16日(金)には「倉敷ユネスコ協会」の皆さん10名、18日(日)には「ボーイスカウト岡山県連盟」の皆さん36名、そして19日(月)には「岡山県華僑華人総会」の皆さん約60名、12月20日(木)には「東塚なかよし会」の皆さん22名がご来館下さいました。ありがとうございました。



講演しました

公明党県支部研修会・中国五県町村教育長研究大会で講演



平成30年8月11日(土)に公明党県支部研修会が、また同月24日(金)には中国五県町村教育長研究大会が当館のある「きびプラザ」内で開催され、それぞれ勝野館長と初岡学芸員が岡崎嘉平太氏の生涯や功績について講演しました。

嘉あちゃんの部屋 ミニ企画展

「久成さんの どうぶつ組木展」

平成31年2月22日(金)～3月24日(日)

吉備中央町上加茂地区にお住まいの久成和男さんが制作されたかわいらしい動物等の組木を展示します。

催しの案内

第13回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展

展示期間

平成31年4月15日(月)～6月17日(月) 岡崎嘉平太記念館

8月6日(火)～8月11日(日) 岡山県天神山文化プラザ

応募された全作品を展示します。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川
4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <http://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集します

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。メールの方は上記「お問い合わせ」フォームから、またFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力下さい。